

(11) 雇用している障がい者の年齢

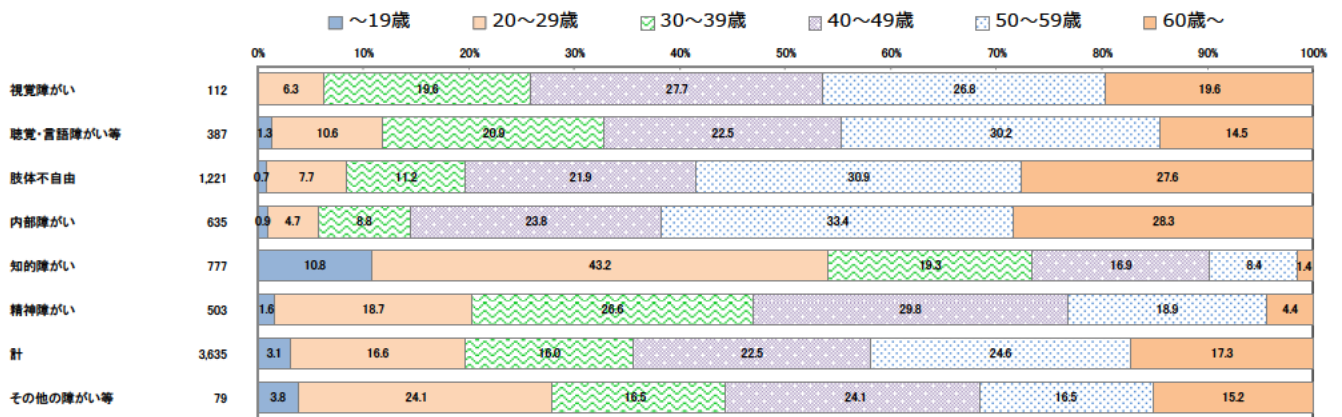
問 14 雇用している障がい者の年齢について、障がい等の種類別に該当の欄に人数をお答えください。

平成 29 年 6 月 1 日時点で雇用している障がい者の年齢について、在職者数ベースでみたところ、視覚障がいでは、「40～49 歳」が 27.7%と最も高く、次いで「50～59 歳」が 26.8%となっている。聴覚・言語障がい等では、「50～59 歳」が 30.2%と最も高く、次いで「40～49 歳」が 22.5%となっている。肢体不自由では、「50～59 歳」が 30.9%と最も高く、次いで「60 歳～」が 27.6%となっている。内部障がいでは、「50～59 歳」が 33.4%で最も高く、次いで「60 歳～」が 28.3%となっている。

一方、知的障がいでは、「20～29 歳」が最も高く 43.2%、次いで「30～39 歳」が 19.3%を占めている。精神障がいでは、「40～49 歳」が最も高く 29.8%、次いで「30～39 歳」が 26.6%を占めている。

これら障がいの在職者数の計では、「50～59 歳」が 24.6%と最も高く、次いで「40～49 歳」が 22.5%、「60 歳～」が 17.3%となっている。

なお、その他の障がい等では、「20～29 歳」および「40～49 歳」が 24.1%（同率）で最も高く、次いで「30～39 歳」および「50～59 歳」が 16.5%（同率）となっている。



《参考 平成 25 年度における三重県調査（前回調査）との比較》

雇用している人数を障がい等の種類ごとに比較すると、すべての種類で増えており、雇用が進んでいる。

